

「資 料」

令和6年度(第66回)水道週間の実施状況

- 各水道事業体水道週間実施報告から -

日本水道協会調査部調査課

1. はじめに

(1) 水道を取り巻く現状

我が国の水道は、今やほぼ全ての国民が利用できるまでに普及しており、健康で文化的な国民生活や様々な社会経済活動を支えるうえで必要不可欠な生活基盤施設となっている。

一方、総人口は減少に転じ、給水収益が減少の一途をたどるとともに、水道事業体職員数も減少しており、水道事業の運営、経営はますます厳しくなっている。

そうした中、老朽化施設の更新・再構築、地震等の災害対策の推進、安全・安心な水の供給の確保等、持続可能な水道事業の構築に向け、水道の基盤強化のための各種取組みの推進が求められている。

特に、防災・減災、国土強靱化に即した強い水道づくりや全国の水道事業者による被災地への応急給水・復旧体制整備等の災害対策及び危機管理面の強化も求められている。

(2) 水道週間の概要

水道週間は、こうした水道を取り巻く状況を踏まえ、国民各層に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取組みについて協力を得るために、関係者が連携して広報活動等を重点的に実施するものである。

本週間を主催する厚生労働省が策定した実施要綱の概要は以下のとおりである。

- 名 称 第66回「水道週間」
- 期 間 令和6年6月1日(土)から6月7日(金)まで
- スローガン 「たいせつに みずはみんなの たからもの」

➤ 実施目標

- ①災害に強い水道づくりのため、水道施設・管路の耐震化の促進について、国民の理解と協力を求めること。
- ②渇水への対処や将来にわたり安定して水道水を供給するため、水道水源の水量確保や節水、水道施設の維持・修繕及び計画的な更新の重要性について、国民の理解を求めること。
- ③消毒副生成物や病原性微生物問題等の水質問題への対応を含めて、安全で良質な水道水の供給を確保するため、水道水源の水質保全や高度浄水施設の整備について、国民の理解と協力を求めること。
- ④給水装置に関する制度の円滑な実施を図るとともに、維持管理の重要性について理解と協力を求めること。
- ⑤水道事業経営の仕組みや水道料金等について、正しい知識を提供し、理解を得ること。
- ⑥簡易専用水道や小規模貯水槽水道の管理について、正しい知識を提供し、管理の重要性について理解を得ること。
- ⑦水道事業ビジョン(地域水道ビジョン)について、公表により需要者への情報提供と理解の向上を図ること。

2. 各水道事業体の活動状況

(1) アンケートの概要

本協会では、水道週間等の活動を通じて水道に関する広報活動を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的として、全正会員1,322団体に対して、水道週間の実施状況についてアンケート調査を実施した(表-1、表-2)。

その結果、752団体より回答があり、回答のあった正会員のうち、89.1%が水道週間期間中に広報

活動を実施しており、昨年度と比べて3.2ポイントの増となった(表-3)。

以下、各地の実施報告を中心に、その内容を紹介する。

(2) 広報媒体・イベント

水道週間に係る広報活動については、86.6%が「ポスター」を利用して実施している。また、

50.3%が「広報誌(紙)」を利用して実施している。これらは、従前より水道週間の広報媒体として上位を占めており、定着率が高いものと考えられる。これ以外に活用した広報手段としては、実施数が多い順に「ホームページ」(43.0%)、「小・中学校などへの文書の配布」(37.8%)、「のほり旗」(24.8%)、「広報グッズ」(23.7%)となっている(表-4)。

また、水道週間期間中に実施したイベントや行事については、広報活動を実施した正会員のうち53.6%がイベントや行事を実施しており、「水道施設の見学会・一般開放」の実施が最も多かった(表-5)。その他のイベントについては令和6年能登半島地震における応援活動に関するパネルの展示や、現地に派遣された職員による報告会等を実施したという報告もあった。なお、各イベント等の結果については後述する。

(3) 広報・広聴の内容

広報・広聴の内容として、「水道週間の趣旨・標語の掲載」をした団体が82.5%と最も多く、次いで「水道週間行事の紹介・参加募集」(24.0%)、「水道水の水質」(18.2%)であった。その他には「防災・災害の備え」(14.5%)や施設の耐震化を含む「水道工事」(10.0%)、「水道事業の経営」(4.3%)についても取り上げ、水道事業全体に係るお客様の理解を促進する情報や自助意識を高める情報を発信している(表-6)。

(4) 広報グッズ

水道週間期間中のイベント等の際に「広報グッズ」の配布を行った団体は23.7%の159団体が実施した(表-7)。配布したグッズは、水道事業等を紹介する「パンフレット」が37.7%と最も多かった。次いで、「ティッシュ」(32.1%)、水道事業体で作成した「ボトルウォーター」(29.6%)となっている(表-8)。また、その他の事例とし



図-1 第66回水道週間ポスター

表-1 アンケート回答結果

項目	今年度	昨年度
調査対象数	1,322	1,336
有効回答数	752	806
無回答、不明	570	530
回答率	56.9%	60.3%

表-2 地方支部回答数

地方支部名	正会員数	回答数	割合	昨年度
北海道	136	52	38.2%	43.4%
東北	164	92	56.1%	65.9%
関東	236	155	65.7%	70.8%
中部	259	164	63.3%	67.6%
関西	170	103	60.6%	62.0%
中国四国	142	74	52.1%	47.1%
九州	215	112	52.1%	54.9%
合計	1,322	752	56.9%	60.3%

表-3 水道週間中の広報活動の実施状況

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	670	89.1%	85.9%
実施していない	82	10.9%	14.1%
合計	752	100.0%	100.0%

表-4 水道週間の実施に当たり活用した広報媒体(複数回答)

N=670

項目	① 広報誌(紙)(地方公共団体及び水道事業体作成を含む)	② ポスター	③ チラシ	④ ホームページ	⑤ SNS	⑥ メールマガジン	⑦ 検針票のお知らせ欄	⑧ 小・中学校などへの文書配布	⑨ 庁内広報掲示板	⑩ 懸垂幕	⑪ のぼり旗
実施数	337	580	74	288	129	7	7	253	139	150	166
実施率	50.3%	86.6%	11.0%	43.0%	19.3%	1.0%	1.0%	37.8%	20.7%	22.4%	24.8%
昨年度実施率	51.0%	90.5%	10.5%	38.3%	15.6%	1.2%	1.3%	35.1%	18.5%	23.0%	24.0%
項目	⑫ 横断幕	⑬ 立て看板	⑭ 電光掲示板	⑮ 広報車	⑯ 防災無線	⑰ 広報グッズ	⑱ マスメディア	⑲ 動画の作成・公開(YouTube等)※	⑳ 模型※	㉑ その他	
実施数	95	50	34	16	11	159	132	17	13	41	
実施率	14.2%	7.5%	5.1%	2.4%	1.6%	23.7%	19.7%	2.5%	1.9%	6.1%	
昨年度実施率	15.3%	4.2%	3.9%	1.9%	1.2%	23.6%	19.7%	-	-	2.6%	

※令和6年度より調査を開始した項目

表-5 実施したイベント・行事(複数回答)

N=670

項目	① 水道施設の見学会・一般開放	② 作品募集(図画、標語、作文、写真、書写など)	③ 水道相談所の設置	④ アンケート調査	⑤ 街頭啓発	⑥ 奉仕活動(清掃、植樹、無料点検など)	⑦ 広報ビデオの上映	⑧ 水道出前授業	⑨ 講演会	⑩ パネル・模型展示※	⑪ ①~⑩に含まれないイベント・行事	⑫ イベントは実施していない
実施数	120	62	20	47	40	84	24	22	1	81	68	311
実施率	17.9%	9.3%	3.0%	7.0%	6.0%	12.5%	3.6%	3.3%	0.1%	12.1%	10.1%	46.4%
昨年度実施数	16.5%	9.7%	2.3%	7.5%	5.3%	10.4%	3.3%	2.9%	0.3%	-	13.0%	48.6%

※令和6年度より調査を開始した項目

表-6 広報・広聴の内容(複数回答)

N=670

項目	① 水道週間の趣旨・標語の掲載	② 水道週間行事の紹介・参加募集	③ 水道施設見学会開催案内・参加募集	④ 水道水の水質(飲用・安全性など)	⑤ 水道水の使用状況	⑥ 給水装置・給水管の維持管理	⑦ 水道料金	⑧ 水道工事(水道施設の耐震化含む)	⑨ 防災・災害の備え	⑩ 水道メーターの検針
実施数	553	161	64	122	32	59	47	67	97	44
実施率	82.5%	24.0%	9.6%	18.2%	4.8%	8.8%	7.0%	10.0%	14.5%	6.6%
昨年度実施率	80.5%	23.1%	10.4%	18.8%	3.0%	6.2%	6.1%	8.4%	10.4%	6.1%
項目	⑪ 水道事業の経営	⑫ 水源開発・節水の重要性	⑬ 水道水源の水質保全	⑭ 水道の加入促進	⑮ 給水区域	⑯ 漏水に関するお知らせ	⑰ 水質検査などを装った悪質商法への注意喚起	⑱ 貯水槽水道の管理・点検	⑲ 地域水道ビジョン	⑳ その他
実施数	29	19	34	11	11	68	5	14	14	54
実施率	4.3%	2.8%	5.1%	1.6%	1.6%	10.1%	0.7%	2.1%	2.1%	8.1%
昨年度実施率	4.9%	3.8%	4.5%	1.9%	1.9%	10.8%	1.2%	1.9%	1.9%	7.7%

て、ステンレス製のマイボトルといった SDGs を意識した広報グッズを配布したという報告もあった。

(5) マスメディア

マスメディアを活用した広報を実施した団体は 19.7%の132団体であった (表-9)。媒体別では、「新聞」を利用した団体が69.7%と最も多く、次いで「ラジオ」(37.9%)、「テレビ・CATV」(24.2%)となっている (表-10)。

マスメディアの活用は、話題性・影響力等から、最も広報効果の大きい媒体の一つである。単独スポットあるいは企画物の番組制作は費用面で難しいこともあるが、水道週間イベントの告知や水道週間期間中のイベントの様子取材を受け (パブリシティ)、水道施設の紹介や水道の大切さの PR に繋げることも有効である。

(6) 水道施設の見学会及び一般開放

水道施設の見学会及び一般開放については

表-7 広報グッズの配布

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	159	23.7%	23.6%
実施していない	511	76.3%	76.4%
合計	670	100.0%	100.0%

17.9%の120団体が実施しており、昨年度からは 1.4ポイントの増となっている (表-11)。

見学会及び一般開放の実施対象施設については、「浄水場」を対象としたものが84.2%と最も多く、次いで「中央監視室」(25.0%)、「配水地」(18.3%)となっている (表-12)。

見学会及び一般開放の対象者としては、「小学生」を対象としたものが最多の48.3%であった

表-9 マスメディアを活用した広報活動

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	132	19.7%	19.7%
実施していない	538	80.3%	80.3%
合計	670	100.0%	100.0%

表-10 広報で活用したマスメディア (複数回答)

N=132

項目	①ラジオ	②テレビ・CATV	③新聞	④雑誌・タウン誌 (紙) (地方公共団体作成の広報紙を除く)	⑤その他
実施数	50	32	92	8	4
実施率	37.9%	24.2%	69.7%	6.1%	3.0%
昨年度実施率	35.3%	20.6%	68.4%	9.6%	5.1%

表-8 広報グッズの配布内容 (複数回答)

N=159

項目	①パンフレット	②筆記用具	③ノート・メモ帳・付箋	④下敷き	⑤クリアファイル	⑥定規	⑦ティッシュ	⑧ハンドタオル・ハンカチ	⑨トートバッグ (エコバッグ)	⑩ボトルウォーター (ペットボトル・缶)	⑪飲料用水袋	⑫防災・防犯グッズ
実施数	60	40	7	20	20	10	51	7	20	47	25	8
実施率	37.7%	25.2%	4.4%	12.6%	12.6%	6.3%	32.1%	4.4%	12.6%	29.6%	15.7%	5.0%
昨年度実施率	28.8%	22.7%	3.1%	11.0%	13.5%	7.4%	31.9%	3.7%	8.0%	26.4%	9.2%	3.1%
項目	⑬キッチングッズ	⑭バス・洗面グッズ	⑮救急・応急グッズ	⑯うちわ	⑰パソコン・スマホ周辺グッズ	⑱シール	⑲風船	⑳玩具 (缶バッチ・キーホルダー・ストラップ)	㉑花・観葉植物・種	㉒修繕セット (パッキン・節水コマ)	㉓その他	
実施数	8	4	1	12	0	11	5	11	13	10	31	
実施率	5.0%	2.5%	0.6%	7.5%	0.0%	6.9%	3.1%	6.9%	8.2%	6.3%	19.5%	
昨年度実施率	3.1%	1.8%	2.5%	8.0%	0.6%	3.7%	3.7%	4.3%	10.4%	7.4%	23.3%	

表-11 水道施設の見学会及び一般開放の実施

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	120	17.9%	16.5%
実施していない	550	82.1%	83.5%
合計	670	100.0%	100.0%

表-12 水道施設の見学会及び一般開放で対象となった水道施設 (複数回答)

N=120

項目	①浄水場	②水源地	③配水池	④水質検査施設	⑤中央監視室	⑥その他
実施数	101	18	22	11	30	12
実施率	84.2%	15.0%	18.3%	9.2%	25.0%	10.0%
昨年度実施数	87.7%	15.8%	18.4%	7.9%	26.3%	5.3%

表-13 見学会及び一般開放の対象者 (複数回答)

N=120

項目	①小学生	②中学生	③給水区域内の住民	④自治会等	⑤参加者は限定しない	⑥その他
実施数	58	1	7	2	50	7
実施率	48.3%	0.8%	5.8%	1.7%	41.7%	5.8%
昨年度実施数	47.4%	0.9%	8.8%	0.9%	44.7%	3.5%

め、社会科学等での受け入れによるものと推察される。また、参加者を限定しない一般市民の受け入れは41.7%となっている。(表-13)。

(7) 作品募集

図画や標語等の作品募集は水道について考えるきっかけとなり、水道への関心を高めるうえでも効果が大きいと考えられ、これらの作品募集については、9.3%の団体が実施している(表-14)。

募集した作品については、「図画」が87.1%と最も多く、その後「書写」(45.2%)、「標語」(40.3%)と続いている(表-15)。

作品募集の対象としては、「小学生」が87.1%と最多で、次いで「中学生」(53.2%)、「参加者は限定しない」(8.1%)となっている(表-16)。

また、作品募集を実施した団体のうち、61.3%の38団体が募集した作品の展示会・表彰式を開催している(表-17)。

(8) 水道相談所

水道相談所の開設状況については、3.0%の20団体が「実施した」と回答しており、昨年度と比

表-14 水道に関する図画等の作品募集の実施

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	62	9.3%	9.7%
実施していない	608	90.7%	90.3%
合計	670	100.0%	100.0%

べ若干増加している(表-18)。

相談所の設置場所は、「庁舎内」が55.0%、「イベント会場」が50.0%で大半を占めている(表-19)。

相談内容としては、「給水装置・給水管の維持管理」に関する相談の割合が40.0%と最も多く、昨年度と比較すると15ポイントの増となっている。次いで、「水道水の水質」(30.0%)、「水道料金」(25.0%)となっている。その他、昨年度から増加した項目として「水道工事」(10.0%)が挙げられるが、この項目には水道施設の耐震化を含むため、令和6年能登半島地震の影響によるものと推察される。(表-20)。

表 -15 作品募集の内容 (複数回答)

N=62

項 目	①図画	②標語	③作文	④写真	⑤書写	⑥その他
実施数	54	25	22	7	28	3
実施率	87.1%	40.3%	35.5%	11.3%	45.2%	4.8%
昨年度 実施率	83.6%	43.3%	38.8%	9.0%	49.3%	3.0%

表 -16 作品募集の対象者 (複数回答)

N=62

項 目	①小学生	②中学生	③給水区域内の住民	④自治会等	⑤参加者は限定しない	⑥その他
実施数	54	33	4	0	5	7
実施率	87.1%	53.2%	6.5%	0.0%	8.1%	11.3%
昨年度 実施率	91.0%	52.2%	4.5%	0.0%	11.9%	7.5%

表 -17 募集した作品の展示会・表彰式の開催

項 目	今年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	38	61.3%	59.7%
実施していない	24	38.7%	40.3%
合 計	62	100.0%	100.0%

表 -18 水道相談所の設置

項 目	今年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	20	3.0%	2.3%
実施していない	650	97.0%	97.7%
合 計	670	100.0%	100.0%

表 -19 相談所の開設場所 (複数回答)

N=20

項 目	①イベント会場	②街頭	③庁舎内	④商業施設	⑤その他
実施数	10	1	11	1	0
実施率	50.0%	5.0%	55.0%	5.0%	0.0%
昨年度 実施率	43.8%	12.5%	56.3%	6.3%	0.0%

表 -20 相談所の相談内容 (複数回答)

N=20

項 目	①水道水の 水質 (飲用・ 安全性など)	②水道水の 使用状況	③給水装置・ 給水管の維持 管理	④水道料金	⑤水道工事 (水道施設の 耐震化含む)	⑥防災・災害 の備え	⑦水道メー ターの検針	⑧その他
実施数	6	1	8	5	2	1	1	2
実施率	30.0%	5.0%	40.0%	25.0%	10.0%	5.0%	5.0%	10.0%
昨年度 実施率	37.5%	0.0%	25.0%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%

(9) アンケート

水道に関するアンケート調査の実施状況については、7.0%の47団体が「実施した」と回答している(表-21)。

アンケートの実施方法は、「イベント等会場調査」が80.9%と最も多く、次いで「インターネット調査」(6.4%)、「街頭調査」(4.3%)となっている(表-22)。

アンケートの内容としては、「水道水の水質」が最多の70.2%、次いで「水道水の使用状況」(55.3%)、「広報活動」(38.3%)、「水道料金」(31.9%)となっている(表-23)。また、その他の事例として、今後取り組んで欲しいことや知りたい情報に加え、イベントの満足度や理解度をアンケート調査し、広報の効果を調査する例もあった。

(10) 街頭啓発

街頭啓発の実施状況については、6.0%の40団体が「実施した」と回答しており、昨年度と比べ若干増加している(表-24)。

実施場所は、「駅」および「庁舎内」が32.5%と最多で、次いで「商業施設」(27.5%)となっている(表-25)。

(11) 奉仕活動

奉仕活動の実施状況については、12.5%の84団体が「実施した」と回答し、昨年度と比べ、2.1ポイント増加している(表-26)。

活動内容としては、「無料点検」が52.4%と最も多く、次いで「河川などの清掃」(14.3%)となっている(表-27)。

また、無料点検を実施した施設については、「希望者宅」での実施が50.0%で最多であり、次いで

表-21 水道に関するアンケートの実施

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	47	7.0%	7.5%
実施していない	623	93.0%	92.5%
合計	670	100.0%	100.0%

表-22 アンケートの実施方法(複数回答)

N=47

項目	①イベント等会場調査	②街頭調査	③郵送調査	④インターネット調査(メール・SNS含む)	⑤電話調査	⑥訪問調査	⑦その他
実施数	38	2	0	3	0	0	6
実施率	80.9%	4.3%	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%	12.8%
昨年度実施率	82.7%	1.9%	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	11.5%

表-23 アンケートの内容(複数回答)

N=47

項目	①水道水の水質(飲用・安全性など)	②水道水の使用状況	③給水装置・給水管の維持管理	④水道料金	⑤水道工事(水道施設の耐震化含む)	⑥防災・災害の備え	⑦水道メーターの検針	⑧水道事業の経営	⑨広報活動	⑩その他
実施数	33	26	0	15	5	13	0	3	18	13
実施率	70.2%	55.3%	0.0%	31.9%	10.6%	27.7%	0.0%	6.4%	38.3%	27.7%
昨年度実施率	65.4%	46.2%	1.9%	32.7%	7.7%	30.8%	0.0%	11.5%	32.7%	32.7%

表-24 街頭啓発の実施

項 目	今年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	40	6.0%	5.3%
実施していない	630	94.0%	94.7%
合 計	670	100.0%	100.0%

表-25 街頭啓発の実施場所 (複数回答)

N=40

項 目	①駅	②庁舎内	③商業施設	④その他
実施数	13	13	11	12
実施率	32.5%	32.5%	27.5%	30.0%
昨年度 実施率	24.3%	35.1%	21.6%	29.7%

表-26 奉仕活動の実施

項 目	今年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	84	12.5%	10.4%
実施していない	586	87.5%	89.6%
合 計	670	100.0%	100.0%

表-27 奉仕活動の内容 (複数回答)

N=84

項 目	①河川などの 清掃	②水源林の 植樹	③ 無 料 点 検 (パッキン交換 など)	④その他
実施数	12	3	44	20
実施率	14.3%	3.6%	52.4%	23.8%
昨年度 実施率	19.4%	1.4%	51.4%	27.8%

表-28 奉仕活動における無料点検の方法・施設
(複数回答)

N=44

項 目	①希望者宅	②学校・福祉施設 (保育園・児童館・老人ホームなど)	③公園	④その他
実施数	22	19	11	5
実施率	50.0%	43.2%	25.0%	11.4%
昨年度 実施率	40.5%	37.8%	21.6%	24.3%

「学校・福祉施設」(43.2%)となっている(表-28)。

(12) その他の取組み

施設見学会等のイベント開催に併せて、小学生から一般市民まで様々な年齢層を対象に、水道水が作られるまでの過程や、その地域の水道の歴史・取組み等を紹介した広報DVDを上映したという報告があった(資料-1)。なお、近年ではSNSやYouTube等の動画配信サービスを活用する事業者が増加し、いつでもどこでも見られるという住民サービスの向上にも寄与している。

また、出前授業では、地域の水道の概要や水道水ができるまでの過程の説明、汙過の実験や応急給水等の体験型の講座を実施する小学生を対象としたもののほか、水道を身近に感じられるよう、イベントに来場した親子や地元の高齢者を対象として実施した講座の報告もあった。特に本年は令和6年能登半島地震が発生し、水道の災害対策等への市民の関心が高まっていることから、災害対策や備蓄啓発に加え、被災地に派遣された職員による活動報告を行う事業者もあった(資料-2)。

その他、講演会を実施したという報告や(資料-3)、水道についてPRを図ることを目的として地域住民を対象にイベントを実施し、水道に関するクイズや耐震管の模型や給水車の展示等、水道について楽しく親しみの持てる企画が多く報告された(資料-4)。

3. 本協会の活動状況

(1) 正会員等の水道週間実施細目の決定及び協力依頼

国土交通省による「第66回「水道週間」実施要綱」に基づき、実施細目を策定し、全正会員に通知するとともに協力を依頼した。

(2) 水道週間ポスターの作成配布

今年度のポスターは、第66回水道週間スローガン「たいせつに みずはみんなの たからもの」及び第65回水道週間協賛「懸賞募集」図画の部(小学校低学年)の特選作品を用いて作成し、水道事業者が安全で良質な水道水の安定的な供給を目指している中で、限りある水資源の大切さを国民に意識してもらえるものとした。作成した約40,000枚のポスターは、日本水道新聞社作成の水

道壁新聞とともに、正会員・関係団体等に配布した。

(3) 水道週間各種広報資料の作成及び頒布

本協会では、水道事業者の各種広報活動に利用いただけるよう次の広報資料を作成し、頒布している。

①みんなの水道2024 (B5判：8頁) 注文：50冊単位 @2,200円(税込)

日本の水道事業の現状とこれからの水道について、イラスト、写真、水道統計等のデータを中心に、グラフや図を用いて解説したパンフレットで、一般向けや水道施設見学等の参考資料として利用されている。



図-2 みんなの水道2024表紙

②水道の話シリーズ第58集-水の旅- (B5判変形：8頁) 注文：50冊単位 @1,650円(税込)

水の大切さをはじめ、水道の役割、施設の働き等について、イラストを用いて絵本風にまとめたパンフレットで、小学生を対象とした水道施設見学等の広報資料として利用されている。今年度は、水道水が蛇口に届くまでの旅路を水源から辿るほか、持続可能な水道の実現のため、耐震化や水源林の保全等も水道事業で行っていることを解説する内容としている。



図-3 水道の話シリーズ第58集表紙

資料-1 広報ビデオの上映について

事業体名	題名	制作者	媒体の種類	映写の機会	対象者
福島地方水道用水供給企業団	新たな水道の誕生、みずのめぐり	福島地方水道用水供給企業団	DVD	浄水場一般公開	浄水場一般公開来場者
八戸圏域水道企業団	みんなの水道のおはなし	八戸圏域水道企業団	DVD	イベント開催時	来場者
東京都	①東京都水道局アプリ キャッシュレス篇 (30秒) ②東京都水道局アプリ 防災篇 (30秒) ③東京都水道局アプリ 引越し篇 (30秒)	(株) I&S BBDO	データファイル	イベント開催時	イベント来場者
横浜市	これからも安全な水を明日へ	横浜市水道局	DVD、データファイル、YouTube にアップロード済み	イベント開催時	子ども向けではないが、具体的な対象指定はなし。
上尾市	「わたしたちの水道」～みず丸くん 水の旅～	水道産業新聞社	DVD	水道週間浄水場見学	見学参加者
狭山市	ミズトの旅 ～水道水が届くまで～	(企画) 狭山市上下水道部 (制作) 日テレアックスオン	DVD	パネル展示開催時	市民
所沢市	ところざわの水道	所沢市上下水道局	DVD	商業施設で実施した、5/31～6/7までの展示期間にモニターでリピート放映した。	商業施設の来場者
甲府市	安心・安全でおいしい水道水のために 平瀬浄水場	甲府市上下水道局	DVD	施設見学前の施設紹介として	浄水場を見学しにきた親子を対象
愛知県	あいちの水道 ARISU in WATERLAND	愛知県企業庁	DVD	浄水場施設案内時	浄水場見学者
瀬戸市	瀬戸市浄水場 ～水道水ができるまで～	瀬戸市	DVD	施設見学会	参加者
豊田市	森が育てる水	豊田市上下水道局総務課	データファイル	豊田市ホームページに掲載 (YouTube リンク)、地域情報番組	豊田市の水道利用者
大垣市	「水道の水がお家に届くまで!」、「水道トラブル Q & A」	大垣市水道部水道課	データファイル、Youtube 動画	イベント開催時	イベント参加者
伊那市	水道部劇場～上下水道の災害対策～	伊那市 (水道部・秘書広報課)、伊那ケーブルテレビジョン(株)	DVD	展示イベント	市民 (特定の対象者を想定していない)
上田市	上田市水道創設100周年記念番組	上田市上下水道局	DVD	施設見学会	限定しない
岡谷市	水道水ができるまで	岡谷市水道課	YouTube 動画の上映	イベント開催時、市主催の出席前講座	一般市民
吹田市	みんなの水道	吹田市水道部	DVD、データファイル	水道展開催時	来庁者

事業体名	題名	制作者	媒体の種類	映写の機会	対象者
高槻市	自ら水から備えよう - たかつき『みずから』防災 -	高槻市水道部	DVD	市中央図書館での展示の一部にて開館時間中放映	市中央図書館利用者
守口市	教えて！浄水場ってどんなところ？	大阪市水道局	YouTube	イベント開催時	イベント参加者のうち希望者
伊丹市	「ウォーターくんの旅」～水道の水ができるまで～	伊丹市上下水道局	DVD	浄水場見学会など	浄水場見学会参加者
大津市	Otsu Watar Planet ①君に知ってほしい水のこと ②水道水が届くまで ③みんなが知らない浄水場のセカイ	大津市企業局（立命館大学との共同制作）	YouTube 及び DVD	6月1日に大津市立図書館の視聴覚ホールにて親子向けに上映を行った。	大津市民等
佐賀市	「水道水ってどうやって作るの?」「ねえ知ってる? 浄水場のこんなこと」	佐賀市上下水道局	データファイル	イベント開催時	イベント参加者
石垣市	緩速汙過法	JICA	DVD	パネル展示会場	パネル展示会場来庁者

資料-2 水道出前授業の実施について

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
野田市	水道出前教室	水の大切さとともに水道の役割について理解を深めてもらうために、各小学校で出前教室を開催。 授業は、絵の具の水をきれいにする児童参加型の実験やパンフレット等を通して、目で見てわかりやすく、楽しく学べる内容で実施。	水道部職員、4名以上	市内小学4年生
山武郡市広域水道企業団	水道出前講座	私たちの生活に欠くことのできない水道について興味・関心をもっていただくため、山武地域の水道事業について説明。時間は45分。	事務職 / 課長補佐・副主任・主事の3人	給水区域内小学校の4年生
甲府市	水道教室	汙過装置を作って、水をきれいにする実験を実施。(45分程度)	平瀬浄水場運転管理等業務委託業者の社員 2名	浄水場を見学しにきた親子を対象に実施
愛知県	出前講座	内容：各小学校に出張し、愛知県の水道や水処理について講座を行う。 時間：1時間未満	愛知県企業庁職員	給水区域の小学生
豊川市	上下水道出前講座	内容：水の循環を基本とし、豊川市の浄水場施設・豊川の浄化センターの紹介を行い、その後、汙過機を用いた汙過実験及びトイレトーパーの溶解実験を行う 時間：1時間程度	1講座につき2～4名	豊川市内の小学校4年生(20校、約1,200人)

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
静岡市	市政出前講座「私たちの上水道～水道水はどこからくるの？」(特別版)	①水道講座「私たちの上水道～水道水はどこからくるの?～」[20分] 内容：水道水ができるまでの工程を説明する。また、災害時に水道がどうなるかと思うかを問いかける。 ②令和 6 年能登半島地震の被災地にて活動した職員等によるお話 [35分] 説明者：上下水道局職員 3 名、局指定工事店協同組合 2 名 内容：今回の地震による断水被害の状況、被災地での支援活動の内容、活動で注意したことや困ったこと、支援をする人の生活 等 ③応急給水体験 [15分] 内容：給水車をグラウンド等に設置し、給水車から給水袋へ飲料水を注水する応急給水活動を体験してもらう。 [計70分程度]	静岡市上下水道局職員 (事務職/主任主事) 1 名 他	市内代表校の 4 年 生 2 クラス 42 名
岐阜県	水道出前講座	水道事務所職員が小学校を訪問し、水をきれいに にする実験を通じて、児童に水道の大切さを伝 える。 各クラス 45 分間	水道事務所職員 4 名	受水市の小学 4 年 生 57 名
小松市	水のキャラバン隊 (水道出前講座)	上下水道の仕組みについて、パワーポイントを使 用した講義及び給排水設備の模型を用いた ワークショップ。合計約 1 時間半程度	小松管工事協同組合加盟 の事業者及び小松市上下 水道局職員。約 15 名。	小松市内小学校の うち 2 校
高岡市	高岡の水道と下水道 ～水はどこから来て どこへ行くのか～	浄水場・下水道処理場の仕組み、および高岡市 の上下水道施設等を紹介する講義を行った。そ の後浄水場のしくみとして水をきれいにするし くみを真似た実験を行った。(浄水場で使用する PAC、次亜塩素酸を使用した浄水実験) 5 月末から 6 月中に市内 11 校の児童 692 名に対 して実施 (予定)。1 校につき 1 時限×クラス数 (合計 23 時限実施予定)	1 校の授業につき、上下 水道局総務課経営企画係 2 名と、上下水道局総務 課他係または他課から 2 名動員し、4 名体制で実 施	高岡市内の小学校 4 年生児童
滑川市	水道出前授業	小学校に訪問し、水道のしくみや水道施設、水 道料金等について説明した。(45分間)	水道維持整備係長 1 名	小学校 4 年生 40 名
岡谷市	水道水ができるまで	時間：60分 水道水の生成過程についての体験学習	水道課職員	小学 4 年生 (期間 中の実施について 申請のあったも の)
十日町市	ライフラインを守る 管工事業	内容：新潟県立松代高等学校 3 年生を対象に『ラ イフラインを守る管工事業』として講義及び配 管作業の実技を実施 時間：講義 13 時 20 分～14 時 10 分 実技 14 時 20 分～15 時 10 分	十日町市管工事業協同組 合青年部 11 名 十日町市上下水道局 1 名	新潟県立松代高等 学校 3 年生
堺市	堺市上下水道出前教 室	内容：通常の講座内容 (水道・下水道の役割) に加え、水道週間に合わせて水の循環と水の備 蓄啓発を実施 時間：45 分間のうち、水道週間に関する内容を 10 分程度紹介	事務職 1 人	堺市内の小学校 1 校 小学 4 年生

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
門真市	出かける水道教室	水道事業に携わる職員が講師として学校へ赴き、子ども達に簡単なクイズや実験を体験してもらい、普段利用している水道水についての理解を深めてもらっている。時間については、1限45分の時間を2限使って実施。	上下水道事業に携わる職員(事務職、技術職、化学職)5～6名	市内小学校の4年生を対象
守山市	市立小学校1校への啓発活動	水道週間啓発グッズとして、消せるラインマーカーを作成し、市立全小学校・中学校を対象に配布した。 うち市立小学校1校に訪問し、作成した啓発品(消せるラインマーカー)の贈呈と水道についての説明を行った。 約30分	守山市上下水道事業所 所長・次長、守山市管工事業協同組合 理事 計3名	小学4年生(1クラス)
尾道市	小学校への出前授業	上下水道局職員が講師となって、午前中の3校時と4校時で授業を行う。3校時は「飲み水ができるまで」「(簡易)汙過装置をつかった実験」と題して水ができるまでの過程の説明や実験を行い、4校時は地元の管工事協同組合の協力のもと、「漏水管の修理」と題し模擬修理の実演や、災害時などで水が使えなくなった時を想定した給水車からの「応急給水」を体験してもらった。	上下水道局…技師8名・主事1名(浄水係/技師2名・水質管理係/技師2名・水道維持係/技師1名・給水係/技師2名・総務係/主事1名 管工事協同組合…水道工事業者2業者/4名	尾道市内の小学4年生(1校)
周南市	水の教室	・水道水ができるまでの工程 ・汙過の実験、PACを使った実験 ・60分間	2回開催で上下水道局職員8名(講師1名交代制)	小学4年生
松山市	水のおはなし教室	水循環、暮らしと水、浄水場の仕組み、下水道についての内容で、小学校の授業2コマ分(90分) ※水道に関する内容は60分程度	人数は1校当たり3～4人で、広報担当職員を中心に、職種・職務を問わずに公営企業局内の各課から募った職員で実施した。	-
岡垣町	岡垣町水ヒストリー	岡垣町の水道事業のあらまし	上下水道課 上下水道工務係長1名	地元住民(旭南区内)行政区内の高齢者向けサロン
佐賀市	こども水道教室	会場のお子様に簡単な実験に挑戦していただき、上下水道局の職員の解説で、お子様に「水道局の取り組み」や「水道水の安全性」などについて学んでいただく内容(20分)。	浄水課参事兼水質管理室長 1名	イベント会場に会場した子どもたち
鹿屋市	水道出前講座「水道教室」	①水道教室 内容：水道週間の趣旨、水とくらし、浄水施設のしくみ、汙過実験、クイズなど/時間：45分 ②浄水場見学 内容：浄水場・資料館の施設の説明・見学など/時間：30～40分	①水道教室 職種：事務職、技術職/ 職務名：係長、主査、主任主事、会計年度任用職員/4～5人 ②浄水場見学 職種：事務職、技術職/ 職務名：課長補佐、主査/1人	市内小学校4年生
沖繩県	水講座	浄水場で行っている原水から浄水への作業(にごりを沈める、汙過する、塩素を加える)の説明及びにごりを沈める実験を行う。 30分/回 計4回	水質担当、2名	イベント参加者のうち受講希望者(100名/回)

資料-3 講演会の開催について

事業体名	名称	内容・時間	講師(肩書き・役職)	対象者
福岡市	「節水の日」キャンペーン トークライブ 「当たり前“今”を守るために」～水をたいせつに～	・過去の大渇水や今に至るまでの水道の歴史などに思いを馳せ、会場のみなさんとキャッチボールしながら、水道局職員の解説を交え、「水のたいせつさ」について考えるもの。 ・約40分	水道局公式アンバサダー、水道局保全部保全課長	一般市民

資料-4 その他イベント・行事の開催について

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
千歳市	水道事業クイズ	水道事業に関するクイズを実施し、正解者の中から抽選で100名にマイボトル(ステンレス製容器、標語入り)を配布する	千歳市民	インターネットからの応募、水道局庁舎
北見市	デジタル展示	北見市のホームページ上で水道水ができるまでの過程や正しい手の洗い方、暮らしや遊びに役立つ水道の豆知識などを紹介。	限定しない	北見市ホームページ
仙台市	青下の杜フェスティバル2024	水源の大切さを学びながら自然を感じて楽しむイベント。	子育て世代とその子ども	仙台市水道記念館・青下水源地
多賀城市	市主催のイベント(第34回多賀城跡あやめまつり)へのブース出展	利き水体験・給水車からの給水体験・耐震管の模型やパネル等の展示・水ヨーヨーつり 等	イベントに来場した市内外の方	多賀城跡あやめ園
登米市	稚魚の放流	母なる川「北上川」がいつまでも魚が住めるような綺麗な川であるようお願いを込めて、放流を行う。	登米北上こども園	北上川右岸「登米水辺プラザ船着場」
福島市	水道まつり2024	水を使ったサイエンスショー、宝石石鹸作り、小水力発電キットづくりなど水に関連する体験コーナーなどを7/6に開催予定。	市内小学生	アクティブシニアセンター アオウゼ
いわき市	水の実験コーナー	浄水工程のうち沈澱、汜過を簡易的に体験していただく実験	子ども	イベント会場
伊達市	屋内こども遊び場への冷水サーバー設置	水道週間の期間中、市内の屋内こども遊び場に水道水を使用する冷水サーバーを設置する。冷たい水道水を飲んでいただくことで、水道水のおいしさや必要性について考えてもらう。	施設を利用する子どもおよびその保護者と施設運営職員	パレオパークやながわ(伊達市梁川町小梁川15-1)
弘前市	弘前市水道週間イベント	パネル展示・パネルに関するクイズ、給水体験、水道管の水鉄砲体験、浄水実験、マンホール蓋展示、ティッシュペーパーとトイレトペーパーのボイを使ったスーパーボールすくい実験、バルーンアート	親子	駅前の遊歩道
鶴岡市	ロビー展示	鶴岡市水道の基本理念、事業概要の展示(紙)、水道メーターボックス、給水袋(水入り)等の展示	一般市民	鶴岡市役所、三川町役場ロビー
奥州市	予定:水道施設見学会(7/27土曜日)	水道事業の説明、水道施設(浄水場)の見学、きき水体験	一般	奥州市内

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
平泉町	いま知りたい水道展	さまざまな管種で、使用前及び漏水による破損した水道管等、メータを展示のほか、水道クイズや漏水の写真展、上下水道掲示板	住民	平泉町役場
横浜市	第66回水道週間イベント	令和6年6月1日(土)にJR桜木町駅前広場にて実施。 10張程度のテントを設置し、出展した所属の各事業に関する体験型のブースを展開。	会場を通りかかった全ての人。	JR桜木町駅前広場 イベントスペース
小田原市	水道週間イベント	水道水と市販の飲料水の飲み比べ、応急給水体験、水道管バルブ操作ゲーム、漏水修理体験、ミニ浄水場実験、パネル展示	一般市民(市内外を問わず)	小田原城本丸東堀・ 花菖蒲園
佐倉市	図書館 水道週間 テーマ展示	図書館内に水道週間をテーマとした展示コーナーを設け、のぼり旗を置いたりポスターを掲示。 司書には水に関する本を選んでもらい同コーナーに設置し、図書館来場者に水道週間をきっかけに「水」について改めて考えてもらえるような展示とした。	図書館利用者	佐倉南図書館
流山市	水道ポスター展	前年度に募集した水道に係るポスターを公共施設等に展示した。	市民	流山市役所本庁1階 ロビー及び流鉄流山 線車両内
鴻巣市	水道週間における広 報活動(応急給水体験 イベント)	市役所本庁舎に給水車と仮設給水タンクを設置し、来庁者に応急給水対応を体験していただいた。	市役所来庁者	市役所本庁舎
所沢市	水道週間キャンペーン ～クイズに答えて オリジナルグッズ をプレゼント!～	期間中、水道に関するクイズに答えた方に、啓発用に用意したオリジナルグッズを配布する。参加者全員にオリジナル絆創膏を、全問正解者にオリジナルウェットティッシュをプレゼントする。	買い物にきた家族連れ のお客様	所沢市観光情報・物 産館 YOT - TOKO
秩父広域市町村 圏組合	水道週間標語入り花 の種配布	水道週間にあたり、水道事業に関心を持ってもらうとともに水の大切さを啓発するため、水道標語入り花の種を配布した。	構成市町の各小学校 3年生児童615名	各小学校を通じて配 布
伊奈町	応急給水訓練及びパ ネル展示	地区イベント会場に出向き、給水車を使った応急給水訓練及び輪島市での職員による応援給水の活動状況を写真パネルで紹介した。	地域住民	地区イベント会場
安中市	久保井戸浄水場一般 開放	※久保井戸浄水場一般開放時に、下記の催しを実施した。 給水車・設置型給水タンクの展示、非常用飲料水袋注水体験、緊急用小型浄水機稼働実演、耐震型鑄鉄管模型の展示、利き水、能登半島地震給水活動の紹介(写真展示)、ペットボトル実験、見学者景品抽選会、当水道事業作成「あんなか霧積の水」の配布、ポケットティッシュ・マスコットキャラクターグッズ・鉢花・かき氷・ポップコーン等の配布	一般開放来場者	久保井戸浄水場
高崎市	環境フェア2024	環境部門及び下水道局と合同で水道週間イベントを開催	全市民	広場
茨城県南水道 企業団	ポスティングによる 加入促進	水道加入促進のグッズ(水道加入促進のチラシ、給水加入金軽減措置の案内、ティッシュ)のポスティング	配水管整備済み地区 の未加入世帯(5地 区・304世帯)	対象世帯

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
豊川市	図書館コラボ展示	期間：令和6年5月16日から令和6年6月18日 内容：水道に関する書籍の展示、テキスト「とよかわ市の水道」を抜粋して展示、水道週間のポスター掲示、期間中の6月1日には、水の缶詰・給水袋を配布	豊川市中央図書館利用者	豊川市中央図書館
蟹江町	水道パッキンの配布	水道蛇口のパッキンを無料配布することで、住民が自分自身で給水装置の維持管理及び漏水に対応できるように促す。	一般家庭	水道事務所
伊勢市	第105回「高柳の夜店」	給水車による給水体験、ボトルウォーター『伊勢の水』の配布及び備蓄水など災害への備えの周知	市民、水道利用者及び「高柳の夜店」来場者	伊勢市 高柳商店街
静岡市	代表校での啓発品贈呈式	社会科の授業で上下水道のしくみについて学習する市内小学4年生全員へ啓発品を配布し、代表校にて啓発品贈呈式を実施した。 (別紙-2 出前講座と同時開催)	市内代表校の4年生 2クラス42名	静岡市立新通小学校 (静岡市葵区)
伊東市	給水車の操作方法等の実技講習会	水道週間に合わせて、給水車の操作方法等を実技訓練し、職員の意識向上と防災訓練を兼ねた講習会とした。	水道課職員	大川浄水場
掛川市	水道感謝のつどい	6月5日に実施。 先人の水道事業に対する功績や水の恵みに感謝し、水道事業の安全・安心・安定供給を祈願するとともに、今年度工事の安全かつ円滑な執行を祈願するイベント。	掛川市民、水道管工事業者	十九首水源公園
島田市	図書館に水道週間特設コーナー設置	「水の大切さ」というテーマで特設コーナーを設置。 特設コーナーには、「水」に焦点を当てた絵本、児童書、専門書や水道部品、水供給の流れを示したポスター等を展示した。	幼児、小学生、親	島田図書館
沼津市	沼津茶の呈茶サービス、ゆうすいくんキャラクターグリーティング	水道施設（水源地）見学会実施と同時に、日本茶インストラクターによる水源地の湧水を利用した呈茶サービス、清水町キャラクターである柿田川湧水から生まれたゆうすいくんのキャラクターグリーティングを行った	水道施設（水源地）見学の来場者	泉水源地
三島市	農業高校生徒によるフラワーアレンジメントの展示	ガーデニングや観葉植物等への水やりによる水需要を喚起するため、静岡県田方農業高校の生徒達によるフラワーアレンジメントを庁舎前に設置して、水道週間の広報活動を行った。	不特定多数の市民	水道課が配置されている市役所別館庁舎の玄関前
大垣市	まちなかスクエアガーデン	駅前通りアーケードに出店を集め、イベント方式で実施することで、エリアの価値や魅力を高め、ウォークアブルなまちとしての中心市街地活性化や、交流人口の拡大を図るもの。	一般	駅前通りの歩道（大垣駅から郭町交差点まで）
大野市	第60回越前大野水マラソン 給水所（2024.5.26日曜日）	大会会場本部付近（スタート・ゴール付近）にて無料の給水所を開設、やかに氷を入れて冷やした水道水を紙コップにてランナーや関係者にふるまった。また給水所には水道週間のポスターや壁新聞を掲示し、水道水のPR活動を行った。	参加ランナー、大会関係者 等	大会会場本部付近

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
長野県	小学生の魚放流事業 及び水生生物の観察会	魚の放流と水生生物の観察会を行うことで、小学生に身近な水環境を知るきっかけにしよう。	塩尻市立洗馬小学校 4年生	奈良井川太田橋
駒ヶ根市	水源祭	安全祈願	主催：駒ヶ根市水道 指定店組合	切石浄水場
佐久水道企業 団	一日企業長	水道モニターとして活躍されている佐久水道女性水の会の会長に一日企業長を体験していただき、水道事業への理解と知識を深めていただいた。	利用者	事務所・水道施設
豊中市	「水に関する図書の 特設コーナー」	市内4か所の市立図書館に「水に関する図書」の特設コーナーを設置し、水に関するさまざまなジャンルの図書を紹介。広報誌・啓発ハンドブックの配布や応急給水袋・備蓄水の展示。また、上下水道局庁舎でも「水」をテーマにした図書コーナーを設置し、能登半島地震における支援活動の様子等展示。	図書館、上下水道局 を利用する一般市民	岡岡図書館・千里図書館・庄内図書館・野畑図書館・上下水道局庁舎
泉大津市	市民検診(健康づくり 課主催)	市民検診の受診者へのチラシ配布	受診者	泉大津市立保健センター
柏原市	リーフレット及び備 蓄水の配布	リーフレット及び備蓄水の配布	来庁者	上下水道部窓口
吹田市	吹田スタジアムフェ スタ2024	市長部局とガンバ大阪が共催するイベントにブースを出展し、災害時応急給水及び水の備蓄啓発、水道施設・管路の耐震化の周知、水道週間のPR及び備蓄水の配布、缶マグネット作成や水道管に親しみを感じてもらえるようなゲームを行った。	イベント来場者	パナソニックスタジアム吹田
高槻市	中央図書館での展示	ペットボトル水と水道水の費用面と環境面での比較、水道水の美味しい飲み方の紹介による水道水の利用促進、水道施設や耐震管の紹介、水道水を利用した家庭での水備蓄や給水拠点の周知など防災啓発に関する展示を実施	中央図書館利用者	中央図書館入り口付近
東大阪市	水道週間2024	①給水車による応急給水体験及び記念撮影 ②水処理体験(ペットボトルで作成した汙過機による簡易な実験) ③パネル展示(「能登半島地震での応援活動」「もしもに備えて災害時の応急給水」) ④大阪広域水道企業団一斉イベント：災害用備蓄水等の配布 ⑤営業業務の包括委託受託者による口座振替の促進及びスーパーボールすくい 等	市民等	フレソボ東大阪(東大阪市稲田新町3-9-64)
伊丹市	水の本特設コーナー の設置	図書館にて水や水道に関する本の特設コーナーを設置	図書館来訪者	伊丹市立図書館(北分館・南分館)
西播磨水道企 業団	応急給水用ポリ容器 (10リットル)・折り たたみ式ウォーター タンク(10リット ル)の配布	災害時の応急給水用として応急給水用ポリ容器(10リットル)・折りたたみ式ウォータータンク(10リットル)の無料配布	給水区域内の市民	企業団庁舎内、構成市の給水区域内総合支所
福崎町	福崎町管工事組合水 道技術講習会	水道技術講習会	管工事組合	福崎町第2グラウンド

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
大津市	水道ブックフェア、 クイズイベント	6月1日～26日まで大津市立図書館にて、水道に関する本を集めて展示し、積極的な貸し出しを行った。 クイズイベントについては6月1日に平和堂堅田店にて実施した。	大津市民等	大津市立図書館（水道ブックフェア）、平和堂堅田店（クイズイベント）
守山市	推定野菜摂取量無料測定会	イベント会場に水道週間のポスターの掲示と来場者へ啓発品の配布	来場者	守山市播磨田町185-1 (molive アル・プラザ守山2階)
広島市	水道週間プレイベント「ひろしまフラワーフェスティバル」(広島最大級のイベント)への出席	マイボトル対応型給水機等による冷水サービス、広報パネルを活用したクイズラリー、耐震管の手動模型の展示、間伐材積木を使用したゲーム、局マスコットキャラクターとの撮影等	主にファミリー層	平和大通り(広島市中区)
福山市	小学校訪問授業(オンライン)(6月10日～7月2日)10校実施	水道・下水道の役割や仕組みに関する動画視聴、説明、質疑応答	小学4年生	上下水道局及び中津原浄水場と市内小学校(オンライン)
広島県水道広域連合企業団	蛇口パッキン無料配布	1人2つまで蛇口パッキンの無料配布を行う。 ※期間中総配布量:374個	開催場所に訪問した者 ※東広島市在住の方対象	広島県水道広域連合企業団東広島事務所、東広島市役所総合受付、東広島市各支所・出張所
岡山市	おかやま水道フェア	ステージショー、防災コーナー、浄水発生土の鉢植え体験コーナー、水道なんでも相談、水道週間アンケート、水飲みくべコーナー、パネル展示、水を使った実験コーナー、ゲームコーナー	小学生以下の幼児・児童、及びその家族	岡山ドーム(岡山市北区北長瀬一丁目1-1)
下関市	水道展・習字コンクール入賞作品展	利き水体験やヨーヨーつり、スーパーボールすくいを行う。 習字コンクールで入賞した作品と水道事業のパネルを、1週間展示。	来場者	シーモール1階コンコース・2階ピアモール
宇部市	稚鮎の放流	水道局職員と水源地域の保育園児にて稚鮎を放流	—	宇部市小野 大田川の宇内橋たもと
光市	第24回水道まつり	光市水道局のパーパスである 100年後も変わらない「安心」を蛇口から をメインテーマに掲げ、水道局の職員が手作りのステージイベントや体験イベント、工作イベントなどを通じて市民の方へ水道局の存在意義や目的を少しでも感じてもらう。	基本的に限定なし	光市水道局 林浄水場
美祢市	蛇口用パッキンの無料配布	蛇口用パッキンの無料配布	市民	上下水道局及び分室窓口
今治市	水道週間セレモニー	・水道週間児童生徒作品展表彰式 ・市内キャンペーン出発式	参加者:作品展最優秀賞受賞者(小中学生とその保護者)、市内管工事業協同組合等	今治市民会館

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
高知市	水のふるさとフェスティバル2024	水道週間に合わせて、毎年実施しているイベント 高知市の上下水道事業を知ってもらうこと、高知市の水源流域(土佐山・鏡地区・土佐町・仁淀川町)との交流を目的としたイベント。イベントでは、局各課のブース(水に関する実験コーナーなど)や水源流域の物産店を出店。	高知市民	高知市中央公園
大川市	第66回水道週間パッキン・ボールペンプレゼント	水道週間中に大川市役所上下水道課窓口に来庁された方に蛇口用パッキンとボールペンをプレゼント(プレゼント希望者のみ)	大川市在住者	大川市役所上下水道課
大分市	大分市環境展	大分市の他課が主催するイベントに出展した。 水道クイズを実施し、回答者にクリアファイルをプレゼントした。 開催日時: 6月1日(土) 午前10時~午後1時30分	親子	大分市ガレリア竹町ドーム広場
佐賀市	上下水道フェア2024	きき水、水道クイズラリー、水道クイズ、子ども水道教室、ぬりえコーナー、バルーンアートショー、縁日コーナー(スーパーボールすくい、キャラクターグッズ配布)、水道・下水道パネル展示、デザインマンホール展示、下水道由来肥料配布等	ショッピングモールの買い物客(ファミリー層)	ショッピングモール(ゆめタウン佐賀)
一ツ瀬川管農 飲雑用水広域 水道企業団	水道週間	企業団の紹介、水道資材、断水に伴う漏水状況の写真や台風災害時の写真を展示し住民に周知した。	一般住民	新富町総合交流センターきらり
沖縄市	WaterWeek2024	水道週間図画展示、上下水道局主催イベント、管工事協同組合協力イベントなどを行なった。水道週間に併せて6/1~6/9の間、図画展示を実施し、また水道事業周知のため上下水道局・管工事協同組合などが協力し、子どもを中心としたイベントのキッズダンスやおでかけどうぶつ、サイエンスショー、消防車展示、消防団訓練、海上保安部お仕事紹介などを通して楽しんだ。	市内小学生以下の児童とその親	沖縄市上下水道局内
中城村	水道週間啓発グッズの配布	トマトの水耕栽培キットを配布した。	村内3校の小学4年生を対象	各学校